

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局道路部地域道路課
担当課長名：吉田 雅文

事業名 一般県道林吾妻線 吾妻峡南道路	事業区分 地方道	事業主体 群馬県	
起終点 自：群馬県吾妻郡長野原町 林 至：群馬県吾妻郡吾妻町 岩下		延長 7.3km	
事業概要 一般県道林吾妻線は、長野原町大字林を起点とし吾妻町大字岩下に至る延長8.5kmの路線で、利根川水系ハツ場ダム建設に伴う吾妻川右岸の付替道路として長野原町の地域居住計画に基づいた重要な路線である。			
H 7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 15年度用地着手	H 9年度工事着手
全体事業費 約73億円		事業進捗率 22%	供用済延長 0km
計画交通量 3,100台/日			
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 48/ 73億円 (事業費：42/ 67億円 維持管理費：6/ 6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 93/ 93億円 (走行時間短縮便益：82/82億円 走行費用減少便益：9/ 9億円 交通事故減少便益：2/ 2億円)
基準年 平成16年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(特急停車駅へのアクセス性が向上が見込まれる：川原温泉駅) ・個性ある地域の形成(特別立法に基づく事業である) 他6項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ハツ場ダム建設事業に伴う生活再建計画の基幹となる施設であり、長野原町及び水没地区ダム対策委員会より早期整備の要望(平成15年9月22日)を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ハツ場ダム建設事業は、地元の了解を得て順調に進んでおり、本路線の早期整備の要望は強くなっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 長野原町については平成13年6月に、吾妻町については平成16年11月にハツ場ダム建設事業に伴う補償基準が妥結し、用地買収及び工事を促進している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 補償基準妥結をはじめ水没関係者との調整の遅れにより事業が長期化の原因となっている。平成16年11月までに補償基準も妥結しており、今後はダム建設に伴う代替地の造成に合わせて、本路線も完成させる予定である。			
施設の構造や工法の変更等 再生材の活用により約7千万円、建設発生土の有効利用により、約5億円のコスト縮減を図っている。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況等を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。